

〈2025年9月・2026年4月入学〉

早稲田大学大学院  
環境・エネルギー研究科

外国人特別選考入学試験要項

奨学金受給資格のある  
国外在住の博士後期課程入学希望者対象

■個人情報の取り扱いについて

本学では、志願時に収集した個人情報(住所・氏名・生年月日等)を、入学試験実施、合格発表、入学手続およびこれに附随する業務のために利用します。その際、当該個人情報の漏洩・流出・不正利用等がないよう、必要かつ適切な管理を行います。また、上記業務の全部又は一部を委託する場合があります。その場合、委託先に対し、契約等により、必要かつ適切な管理を義務付けます。本学に提出された書類・資料・論文および提供された情報等(「本提出書類等」といいます。)につき、その真正性等について、本学が発行元・提供元および論文審査機関等に対して、本提出書類等を提供して問合せをすることがあります。志願者は本提出書類等を本学に提出または提供したことをもって、本学がこの問合せを行うことに同意したものとします。これらの他、個人が特定されないように統計処理した個人情報を、本学における入学者選抜のための調査・研究の資料として利用します。

## 目 次

### 博士後期課程 外国人特別選考入学試験要項

<b>出願要領</b> .....	1
1. 募集課程・人員.....	1
2. 募集研究指導と授与学位.....	1
3. 入学の時期.....	1
4. 出願資格.....	1
5. 出願期間.....	2
6. 出願書類.....	2
7. 出願方法(郵送での出願書類分).....	4
8. 入学検定料.....	5
9. 入学検定料の支払い方法.....	5
10. 入学検定料の返還について.....	8
<b>受験要領</b> .....	8
1. 選考方法.....	8
2. 不正行為について.....	8
<b>合格者発表</b> .....	8
<b>入学手続要領</b> .....	9
1. 入学手続期間.....	9
2. 入学辞退にともなう学費返還.....	9
3. 学費・諸会費等.....	9
4. その他.....	9
<b>在留資格「留学」の取得について</b> .....	10
<b>特定国からの志願者に対する入学検定料免除措置制度</b> .....	12
<b>研究指導および担当教員</b> .....	14

- ・本要項における外国人特別選考入学試験は、奨学金受給資格のある方のみが出願することができます。
  - ・外国人特別選考制度入学試験は、2025年9月および2026年4月入学志願者に対し、2回実施します。
  - ・志願者は、2回の試験のうち、1回のみ出願することができます。
  - ・それぞれの出願日程・試験日程が異なります。日程を間違わないよう、注意してください。
  - ・出願前に必ず当研究科入試係に出願する旨をメールで連絡してください。
- E-mail: weee-ent@list.waseda.jp

## 出願要領

### 1. 募集課程・人員

博士後期課程 若干名

### 2. 募集研究指導と授与学位

募集する研究指導は以下のとおりです。

研究指導	指導教員	授与学位
環境・パワーシステム研究	教授 草鹿 仁	工学・学術
環境・エクセルギー工学研究	教授 中垣 隆雄	工学・学術
環境システム評価研究	教授 納富 信	工学・学術
環境・電気エネルギー研究	教授 紙屋 雄史	工学・学術
環境配慮エネルギー・循環システム研究	教授 小野田 弘士	工学・学術
環境共生・地域社会システム研究	教授 野津 喬	学術

### 3. 入学の時期

2025年9月 または 2026年4月

### 4. 出願資格

出願時に日本国外に在住の外国人で、次の制度上の資格および学歴上の資格を共に有する者。

#### (1) 制度上の資格

次に示す事項に該当する奨学金受給決定あるいは内定者を対象とする。

- ① 公的機関、財団等の奨学金であり、奨学金規定が明文化されていること。
- ② 上記の奨学金が正規の課程の年限に渡る学費額に相当すること。  
※出願資格に該当する奨学金であるかは、出願書類をもとに当研究科が審査する。

#### (2) 学歴上の資格

次のいずれかの条件に該当する者を対象とする。

- ① 修士の学位を得た者、または2025年9月入学希望者は2025年9月20日までに取得見込の者、2026年4月入学希望者は2026年3月31日までに取得見込の者。
- ② 外国において、修士もしくは修士(専門職)の学位またはこれに相当する学位を得た者。または2025年9月入学希望者は2025年9月20日までに、2026年4月入学希望者は2026年3月31日までに取得見込みの者。

※当研究科が実施する他の試験制度と重複して出願することの可否については、当研究科入試係に問い合わせてください。

※本学(学校法人早稲田大学が設置する早稲田大学その他の学校をいう。以下同じ。)の教員は、本学の学籍を有することができませんので注意してください。ただし、規程上認められている場合もありますので、不明点がある場合は所属箇所事務所を通じて本部にお問い合わせください。

## 5. 出願期間

入学時期	入試区分	出願期間(JST)
2025年9月	5月入試	2025年4月5日(土)～5月5日(月)(必着)
2026年4月	5月入試	2025年4月5日(土)～5月5日(月)(必着)
	11月入試	2025年9月27日(土)～10月27日(月)(必着)

## 6. 出願書類

Word文書として入力後、印刷して提出してください。手書きで提出する場合は、黒のペンまたはボールペンを使用してください。文字は楷書、数字は算用数字で記入してください。

また、顔写真や各種機関から発行された証明書等は、修正や加工をせずにそのまま提出してください。顔写真や証明書等に何らかの修正や加工をすることは厳に禁じます。修正や加工をした場合は不正行為となる場合があります(8ページの「不正行為」に関する注意も合わせて参照のこと)。

①志願票 [所定用紙]

②志望理由および自己アピール書 [所定用紙]

③入学後の研究計画 [所定用紙]

④研究業績報告書 [所定用紙]

⑤活動実績概要書 [所定用紙]

⑥卒業・修了(見込)証明書(原本)

・必ず原本を提出してください。コピーは受理しません。

・学部・修士課程両方の証明書を提出してください。

・証明書は日本語または英語で書かれたものを提出してください。日本語または英語で発行できない場合は翻訳文(日本語または英語)、翻訳文の内容を証明する公証印が押印された公証書(原本)も提出してください。

**中国の大学を卒業(見込みの方含む)方は、上記に加え、以下の事項も確認し、提出してください。CSSD(CHESICC)からの書類も出願書類提出期限までに当研究科に到着させてください。CSSDからの書類は、出願期間前でも受け付けます。**

**◆中国の教育機関を卒業した方は、次の①、②が必要です。**

① 証書番号が記載されている**卒業証明書**、**学位取得証明書**、および**成績証明書**(いずれも日本語または英語。原本であること)の郵送提出。

② CHSI(中国高等教育学生信息网)が発行する、**学歴認証報告書(英語版)(Online Verification Report of Higher Education Qualification Certificate)** および **学位取得の認証書(英語版)(Online Verification Report of Higher Education Degree Certificate)** の2つが CSSD から環境・エネルギー研究科事務所(weee-nyusi@list.waseda.jp)へ出願期間締切日までにメールで直送されるよう手配してください。

**◆中国の教育機関を卒業見込の方は、次の①、②が必要です。**

① 大学発行の**卒業見込証明書**、**成績証明書**(いずれも日本語もしくは英語版。原本であること)の郵送提出。

② CHSI(中国高等教育学生信息网)が発行する**学籍の認証書(英語版)(Online Verification Report of Student Record)**を CSSD から環境・エネルギー研究科事務所(weee-nyusi@list.waseda.jp)へ出願期間締切日までにメールで直送されるよう手配してください。

詳細についてはCSSDのWebサイトをご確認ください。 <https://www.chsi.com.cn/en/pvr/>

⑦成績証明書(原本)

・学部と修士課程の全学期の成績が記載されたものを提出してください。

・編入している方は、編入学前の成績証明書も提出してください。

・証明書は日本語または英語で書かれたものを提出してください。日本語または英語で発行できない場合は翻訳文(日本語または英語)、翻訳文の内容を証明する公証印が押印された公証書(原本)も提出してください。

⑧推薦状 [所定用紙推奨](原本)

所定様式のを推奨しますが、所定様式以外の推薦状でも出願は可能です。推薦状は、出願開始日の2年前以降に発行されたもののみ有効になります。**推薦状は必ず厳封されたものを提出してください。厳封が無いものは原則無効といたします。**また推薦状は日本語または英語で作成してください。それ以外の言語で作成する場合は日本語または英語訳を作成し、推薦状の原本と一緒に提出してください。特に

公証は必要ありません。

⑨ 英語能力証明書(原本) ※以下1)～3)のうちいずれか1点

・試験実施団体から当研究科への直送を原則とします。ただし、国外受験等により直送対象外の場合は、他出願書類と同封の上、当研究科まで英語能力証明書(原本)を郵送してください。

・原本を提出してください。インターネットのスクリーンショット等を提出した場合は出願が無効となります。

・提出されたスコアカードは返却しません。

・自宅等から受験可能な試験(TOEFL iBT Home Edition, TOEFL iBT Paper Edition, IELTS Online 等)は原則として不可です。

・出願受付開始日から2年以内に受験した英語テストスコアレポートのみ有効です。提出可能な英語テストは以下の通りです。

**1) TOEIC L&R (公式認定証 Official Score Certificate)**

「Official Score Certificate」(公式認定証)が、試験実施団体から当研究科事務所(Graduate School of Environment and Energy Engineering, Waseda University)へ直接送付されるように依頼してください。「Official Score Certificate」(公式認定証)が出願締切日までに当研究科に届くよう、早めに依頼してください。

TOEIC 団体ウェブサイト <https://www.iibc-global.org/toEIC/test/lr/guide04/score.html>

**【送付先情報】**

学校機関名・学科: 早稲田大学

部署・係: 大学院環境・エネルギー研究科入試係

住所: 〒169-8555 東京都新宿区大久保3-4-1 西早稲田キャンパス51号館B1階17室

**2) TOEFL-iBT (Official Score Report)**

「Official Score Report」が試験実施団体から当研究科事務所(Graduate School of Environment and Energy Engineering, Waseda University)へ直接送付されるように依頼してください。「Official Score Report」が出願締切日までに当研究科に届くよう、早めに依頼してください。

TOEFL団体ウェブサイト <http://www.ets.org>

DIコード(Designated Institution Code): C324

**3) IELTS Academic (Additional Test Report Form)**

「Additional Test Report Form」(追加成績証明書)(郵送)が、試験実施団体から当研究科事務所(Graduate School of Environment and Energy Engineering, Waseda University)へ直接送付されるように依頼してください。「Additional Test Report Form」(追加成績証明書)(郵送)が出願締切日までに当研究科に届くよう、早めに依頼してください。

IELTS団体ウェブサイト <https://ieltsj.com/japan/results/additional-trf>

**【送付方法】**

「郵送/By post」を選択

**【送付先情報】**

学校・機関名: 早稲田大学(Waseda University)

提出先(部署名・学部名・担当者名): 大学院環境・エネルギー研究科入試係(Admissions Office, Graduate School of Environment and Energy Engineering)

送付先住所(Street Address): Bldg. 51-B1-17, 3-4-1

送付先住所(Address Line 2): 大久保(Ookubo)

送付先住所(Suburb/City): 新宿区(Shinjuku-ku)

送付先住所(State/Province): 東京都(Tokyo)

送付先住所(ZIP/Postal Code): 1698555

送付先住所(Country): 日本(Japan)

(※TOEIC IP, TOEIC S&W, TOEIC Bridge, TOEFL ITP, TOEFL PBT, TOEFL CBT, IELTS General Training, TEP-TEST等は無効です。)

⑩ 公的機関、財団等の奨学金規定およびあなたが奨学金を受給することの証明書(原本)

⑪ 留学にかかる経費負担計画書(申請人等作成用)[所定用紙]

⑫ パスポート(顔写真のページ)のコピー

⑬ **任意**の提出資料

以下の資料があれば添付すること。

・学術論文、学会講演発表等の抜き刷りならびに各種制作物等の写真やリストなど

・各種資格取得証明書、取得特許概要等のコピー

・日本語能力証明書(原本) ※以下1)・2)のうちいずれか1点

◆試験実施団体から当研究科への直送を原則とします。ただし、国外受験等により直送対象外の場合は、他出願書類と同封の上、当研究科まで日本語能力証明書(原本)を郵送してください。

◆以下の1)および2)試験を受験できなかった場合は、大学およびその他の日本語教育機関による、日本語能力に関する証明書または所見を提出してください。

1)日本語能力試験(JLPT)N1の「認定結果及び成績に関する証明書」※N1合格

「認定結果及び成績に関する証明書」が、試験実施団体から当研究科事務所(Graduate School of Environment and Energy Engineering, Waseda University)へ直接送付されるように依頼してください。「認定結果及び成績に関する証明書」が出願締切日までに当研究科に届くよう、早めに依頼してください。

※「日本語能力試験合否結果通知書」は提出しないでください。

日本語能力試験(JLPT)団体ウェブサイト <https://www.jlpt.jp/certificate/index.html>

【送付先情報】

〒169-8555 東京都新宿区大久保 3-4-1 西早稲田キャンパス 51号館 B1階 17室

(Nishiwaseda Campus Bldg. 51-B1-17, 3-4-1 Ookubo, Shinjuku-ku, Tokyo, 169-8555, Japan)

早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科 入試係

(Admissions Office, Graduate School of Environment and Energy Engineering, Waseda University)

2)日本留学試験(EJU)の「日本留学試験 成績通知書」を提出の場合は、他出願書類と同封の上、当研究科まで原本を郵送してください。

⑭入学検定料を支払ったことの証明書

外国送金の場合は外国送金依頼書のコピー、クレジットカード、銀聯カードの場合は印刷した「申込内容照会結果」を同封して下さい。

⑮在留資格認定証明書交付申請書[所定用紙] (該当者のみ) 写真1枚添付

⑯提出書類返還依頼書[所定用紙] (該当者のみ)

再発行が不可能なものに限り、書類を返還いたします。卒業(修了)証明書、学位証明書、成績証明書、語学能力証明書(日本語・英語)、公証書、推薦状等の再発行可能な書類は返還されませんが、当学が確認を行い、再発行が不可能だと判断した書類のみ、返還いたします。返還作業には1~2ヶ月程かかります。

・所定用紙は当研究科ホームページからダウンロードしてください。

<https://www.waseda.jp/fsci/gweee/applicants/admission/application/>

本学では、入学試験の円滑な実施と入学手続の必要上、合理的理由があると判断される必要最小限に留め、戸籍上の性別情報を収集しています。性別情報が合否に影響を及ぼすことは一切ありません。<https://www.waseda.jp/inst/diversity/support/sexual-minority/>

出願の際に本学に提出した書類・資料、提供した情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合は、不正行為とみなし、入学試験の結果を無効とすることがあります。なお、その場合も提出された書類・資料等および入学検定料は返還しません。

## 7. 出願方法(郵送での出願書類分)

①出願期間外に到着した書類は受け付けません。

②封筒(A4判が折らずに入る大きさ)に入れて、EMS等の追跡サービスが利用可能な方法で送付してください。出願締切日を必着とし、締切日を過ぎて到着した願書は一切受け付けません。

③送付する封筒の表面に、課程・何月入試の出願かを朱書してください。

例: 外国人特別(9月入学)願書在中 外国人特別(4月入学)願書在中

④出願書類受理証明書等は発行しません。出願書類が大学に到着しているかどうかは、各自で、トラッキング番号等で確認してください。

⑤直接持参は受け付けません。

《出願書類郵送先》

〒169-8555 東京都新宿区大久保 3-4-1 西早稲田キャンパス 51 号館 B1 階 17 室  
早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科 入試係

身体機能の障がいや疾病等により、就学に際して配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、当研究科までお問合せください。

8. 入学検定料

15,000円

9. 入学検定料の支払い方法

納入期間は以下のとおりです。

入学時期	入試区分	納入期間(JST)
2025年9月	5月入試	2025年4月5日(土)～5月5日(月)
2026年4月	5月入試	2025年4月5日(土)～5月5日(月)
	11月入試	2025年9月27日(土)～10月27日(月)

※入学検定料支払い、出願書類の提出・受理をもって出願が完了します。

※検定料を納入していない方の出願は受け付けません。

以下の振込方法のうち、いずれかを選んで振込んでください。

■外国送金による支払

入学検定料 15,000 円に円為替手数料 2,500 円を加算した額面 17,500 円を、次の要領に従って金融機関より送金して下さい。現地金融機関において別途手数料がかかる場合は、17,500 円とは別に窓口で支払って下さい。また、必ず「外国送金依頼書」のコピーを提出書類に同封して下さい。

送金種類(Type of remittance)	電信送金(Telegraphic Transfer)
支払方法(Payment method)	通知払(Advise and Pay)
振込銀行手数料(Bank Transfer fee)	依頼人負担(Payer's Responsibility)
円為替手数料(Lifting charge)	受取人負担(payee's Account)
送金金額(Remittance amount)	17,500円(検定料15,000円+円為替手数料2,500円) ※現地金融機関において別途手数料が必要となる場合は、この金額とは別に窓口でお支払いください。
送金目的(Purpose of remittance)	入学検定料(Screening Fee)
連絡事項(Message to payee)	研究科コード「54」と志願者本人の英字氏名(Graduate School Code 54 along with Applicant's Name in English)
送金先 (Payee's Account Information)	銀行名: 三菱UFJ銀行(MUFG Bank, Ltd) 支店名: 江戸川橋支店(Edogawabashi Branch) 口座番号: 0035967FLK 受取人名: 早稲田大学(Waseda University) 銀行住所: 〒162-0825 東京都新宿区神楽坂3-7 (3-7, Kagurazaka Shinjuku-ku Tokyo, Japan) スィフトコード: BOTKJPJT (Swift Code)

## ■クレジットカード・中国オンライン決済(銀聯カード)による支払方法

クレジットカード・中国オンライン決済での支払いに際しては、パソコンもしくは携帯電話等により「インターネット上の支払いサイト」(<https://e-shiharai.net/card/>)にアクセスをして所定申込手続を完了させる必要があります。

支払い終了後、決済完了が表示された Web ページを印刷し、志願票と一緒に提出してください。支払方法の詳細については、7 ページの「クレジットカード・銀聯カードでの検定料支払方法」を確認してください。

※支払いは、土日・祝日を問わず、24時間いつでも可能です。

※支払いに使用するカードは志願者本人以外の名義でも構いません。ただし、家族・知人が代理で手続をする場合でも、「基本情報」には必ず志願者本人の情報を記入するようにしてください。

# 早稲田大学 クレジットカード・銀聯カードでの検定料支払方法

24時間・365日いつでも支払いOK!これが簡単・便利なシンプルスタイル!

クレジットカード・銀聯カードを利用して検定料のお支払いが可能です。



Web申込みオンライン決済

画面の指示に従って必要事項を入力し、お支払いに必要な番号を取得。



<https://e-shiharai.net>



端末の未成年者アクセス制限サービスは解除してご利用ください。

- |           |   |
|-----------|---|
| 1. トップページ | お支払い先を選択してください。                             |
| 2. 学校選択   | 申し込みをする学校の学校名をクリックしてください。                   |
| 3. 学校案内   | 注意事項等を確認のうえ、個人情報の取扱いについて同意してください。           |
| 4. カテゴリ選択 | 第1～第4選択を選択して「次へ」をクリック                       |
| 5. 基本情報入力 | 申込者本人の基本情報を入力してください。<br>支払い方法を選択し、「次へ」をクリック |

## クレジットカードの場合

支払いに利用するカード番号(16桁)を入力してください。  
※American Expressの場合は15桁  
※お支払いされるカードの名義人は申込者本人でなくても構いません。

全入力内容が表示されますので、  
よろしければ「上記の内容で確定する」をクリック

「申込内容照会」にアクセスし「照会結果」を印刷する  
携帯電話をご利用の場合は、プリンタのある環境で申込内容照会を行ってください。

## 銀聯カードの場合

画面の指示に従って、支払いを完了してください。

「申込内容照会」にアクセスし「照会結果」を印刷する



印刷した「申込内容照会結果」と必要書類を、出願用封筒に入れる。



必要書類



郵便局から  
郵送にて出願。



### 【注意事項・よくあるお問合せ】

- 出願・申請書類に記載されている支払い期間内であれば、いつでもお支払い可能です。支払い期間を入試要項でご確認のうえ、出願に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- 支払最終日は日本時間の23:00までにカード決済を完了させてください。
- 銀聯カードで決済する場合は、パソコンからお申し込みください。
- カードの名義人は、申込者本人でなくても構いません。但し、基本情報入力画面では、必ず申込者本人の情報を入力してください。
- 申込内容照会は、e-shiharaiサイトの「申込照会」にて、お申し込み時に通知された【受付番号】【生年月日】を入力すると表示されます。
- カード審査が通らなかった場合は、カード会社へ直接お問い合わせください。

### ■手数料について

検定料の他に事務手数料が別途かかります。

入学検定料金額	事務手数料(消費税込)
～ 29,999 円	565 円
30,000 円 ～ 49,999 円	1,005 円
50,000 円 ～ 69,999 円	1,446 円
70,000 円 ～ 99,999 円	1,833 円
100,000 円 ～ 199,999 円	2,074 円
200,000 円 ～ 299,999 円	2,618 円
300,000 円 ～	4,400 円

事務手数料は変更になる場合があります。

クレジットカード・銀聯カードでの検定料納入についてのお問い合わせは、サイトのよくある質問をご確認ください。

## 10. 入学検定料の返還について

一度受理した書類およびお支払いいただいた入学検定料は、原則として返還いたしません。ただし、下記のケースに該当する場合は、入学検定料に限り返還いたします。該当する方は当研究科入試係(weee-ent@list.waseda.jp)までご連絡ください。

- 1) 入学検定料を支払ったが、出願書類は提出しなかった。
- 2) 入学検定料を支払ったが、出願締切後に出願書類を提出した。
- 3) 入学検定料を支払い、出願書類を提出したが、出願書類の不備や出願資格を満たしていない等の理由により、出願が受理されなかった。

なお、クレジットカードにより入学検定料を納入した場合や、日本国外の金融機関口座へ入学検定料を返還する場合、返還に伴い発生する手数料等は志願者の負担となります。

### 受験要領

#### 1. 選考方法

提出された出願書類を基に合否判定を行います。

#### 2. 不正行為について

本学では、入学試験を厳正に実施し、全ての受験者が公平・公正に受験できるよう、以下の注意事項を定めています。

本学入学試験の受験に際しては、この注意事項を熟読のうえ、真剣な態度で試験に臨んでください。

1. 出願の際に本学に提出した書類・資料、提供した情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合は、不正行為となることがあります。
2. 不正行為の疑いがある場合、次のような対応をとることがあります。これらに応じない場合、不正行為を自認したものとみなします。
  - ・本学に提出された書類・資料・論文および提供された情報等(「本提出書類等」といいます。)につき、その真正性等について、本学が発行元・提供元および論文審査機関等に対して、本提出書類等を提供して問合せをすること。志願者は本提出書類等を本学に提出または提供したことをもって、本学がこの問合せを行うことに同意したものとします。
3. 不正行為と認められた場合、次のような対応をとることがあります。
  - ・当該年度における本学の全ての入学試験の受験を認めないこと(入学検定料は返還しない)。
  - ・当該年度における本学の全ての入学試験の結果を無効とすること。

なお、入学後に不正行為と認められた場合は、本学規程に基づき入学取消の対象となることがあります。

大学が極めて悪質かつ重大であると判断した不正行為については、警察への通報や不正行為者の所属機関・保護者等への報告を行う場合があります。

### 合格者発表

- ① 受験者全員に対して、以下の日程で志願票に記載されている志願者現住所宛に「選考結果通知書」を郵送します。転居した場合は、必ず当研究科入試係に連絡してください。また、当研究科ホームページに「合格者受験番号表」を発表日17:00に掲載します。合格者には、通知書他、入学諸費用の振込用紙(振込依頼書)等を郵送します。

入学時期	入試区分	選考通知書投函日
2025年9月	5月入試	2025年 5月20日(火)
2026年4月	5月入試	2025年 5月20日(火)
	11月入試	2025年11月26日(水)

※上記日程の1週間後も「選考結果通知書」が到着しない場合には、当研究科入試係まで問い合わせてください。

※電話、Email等による合否に関する問い合わせには回答しません。

- ② 当研究科が、9月入学を認めた当研究科合格者には、2025年9月からの入学を許可します。ただし、2025年9月20日までに入学資格を取得した方に限ります。
- ③ 当研究科が、4月入学を認めた当研究科合格者には、2026年4月からの入学を許可します。ただし、2026年3月末日までに入学資格を取得した方に限ります。

## 入学手続要領

所定の期間内に、①入学手続情報の入力<UCARO>②入学手続料(入学金・学費・諸会費)の納入<銀行振込>、③入学手続書類提出<郵送>の3点を完了することにより、入学手続が完了します。入学手続期間後の入学手続はどのような事情があっても一切認めませんので、十分注意してください。

詳細は入学手続書類交付時にお知らせします。なお、入学時期の延期、変更等はできません。

### 1. 入学手続期間

入学時期	入学金・学費等振込期限(JST)	入学手続書類締切日 (JST)
2025年9月入学	2025年6月4日(水)	2025年8月19日(火)【締切日必着】
2026年4月入学	2025年12月3日(水)	2026年2月17日(火)【締切日必着】

- ① 手続はすべて郵送に限ります。期間外に到着した書類は受け付けません。
- ② 封筒(A4判が折らずに入る大きさ)に入れて、EMS等の追跡サービスが利用可能な方法で送付してください。
- ③ 送付する封筒の表面に「外国人特別選考 手続書類在中」と朱書してください。
- ④ 手続書類受理証明書等は発行しません。手続書類が大学に到着しているかどうかは、各自、トラッキング番号等で確認してください。
- ⑤ 直接持参は受け付けません。
- ⑥ 手続完了者には、「入学許可書」を郵送します。

#### ≪手続書類郵送先≫

〒169-8555 東京都新宿区大久保 3-4-1  
西早稲田キャンパス 51号館 B1階 17室  
早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科 入試係

### 2. 入学辞退にともなう学費返還

一度提出した書類および納入した登録料(入学金相当額)、学費・諸会費(春学期分)は、原則として返還しません。ただし、やむを得ない事情により入学を辞退する場合や、入学までに入学資格を満たさなかった場合には、学費・諸会費(第一期分)のみ返還の対象となります。手続方法等、詳細については、合格者に送付される「入学手続の手引き」をご参照ください。

### 3. 学費・諸会費等

2025年9月入学者の入学手続に必要な入学金、学費、諸会費等は、以下のとおりです。

博士後期課程入学者の初年度学費明細

(単位:円)

入学金	授業料		実験演習料		学生健康増進 互助会費	合計
	秋学期	春学期	秋学期	春学期		
200,000	353,500 (入学時)	353,500	47,000 (入学時)	47,000	1,500 (学期毎)	入学時 602,000 春学期 402,000

#### 注意

1. 当学の学部、大学院、専攻科の卒業、修了または退学者が再度当学に入学者の場合、入学金が免除されます。
2. 上記記載の学費等額は、2025年9月入学者に適用される金額となります。
3. 学費等は改定されることがあります。学費等の一覧は以下URLで確認してください。

<https://www.waseda.jp/inst/admission/graduate/fees/>

### 4. その他

当研究科の授業は、主に早稲田・西早稲田の2キャンパスで開講しています。

## 在留資格「留学」の取得について

留学センター在留資格ウェブサイト: <http://www.cie-waseda.jp/visastatus/jp/index.html>

### 在留資格「留学」の取得について

早稲田大学への入学を許可された外国学生は、在留資格「留学」を申請することができます。「留学」の在留資格を有する学生は、外国人留学生授業料減免や留学生対象奨学金を申請することができます。「**留学**」以外の在留資格でも入学することはできますが、**上記のような留学生対象の各種補助制度は利用できませんのでご了承ください。**

**「短期滞在」の在留資格で大学に在籍することはできません**ので注意してください。以下の(1)～(6)をよく読んで、いずれかに該当する方は在留期間更新や在留資格変更、在留資格認定証明書交付申請など必要な在留手続きを行ってください。**在留手続きを行うには入学手続き料の振込を完了していることが必要です。**手続きに「入学許可書」が必要な場合は、入学手続き料の振込を完了した後、希望者に対し環境・エネルギー研究科事務所で発行します。

#### (1)「留学」の在留資格を有している場合

現時点ですでに「留学」の在留資格を有している場合は、必要に応じて「在留期間更新許可申請」を行ってください。手続きに関する詳細は、早稲田大学留学センターの在留資格のWebサイト内、「**入学前の方へ**」の[「留学」の在留資格を持っている方](#)を参照してください。

#### (2)「短期滞在」の在留資格を有している場合

現時点で「短期滞在」の在留資格を有している場合は、原則として一度国外へ出て「留学」の在留資格を申請する必要があります。「留学」の在留資格の申請方法については、「**(4)在留資格を有していない場合**」を参照してください。

#### (3)上記以外の在留資格を有している場合

現在の在留資格に該当する活動が終わる場合は、「留学」の在留資格に変更が必要です。「家族滞在」など、状態が変わらない場合は必要に応じて在留資格を変更してください。手続きに関する詳細は、早稲田大学留学センターの在留資格のWebサイト内、「**入学前の方へ**」の[「留学」以外の在留資格を持っている方](#)を参照してください。

【注】在留期間更新許可申請および在留資格変更許可申請には、早稲田大学の押印のある書類が必要です。出入国在留管理局に申請する前に、申請書、入学許可書およびその他申請に必要な書類を大学に提出する必要がありますので注意してください。

#### (4)在留資格を有していない場合

在留資格を申請するには、まず日本国内の出入国在留管理局に「在留資格認定証明書」(Certificate of Eligibility=COE)を申請する必要があります。早稲田大学では**入学手続きを完了した国外居住の外国籍学生に限り**、本人に代わって出入国在留管理局にCOEの代理申請を行います。代理申請後、COEが出入国在留管理局より交付され早稲田大学に送付されましたら、当研究科事務所から申請者に送ります。COEを受け取った後は、パスポートとともに持参し、国籍を有する国または居住国の日本大使館、領事館で「留学」ビザ(査証)を申請してください。COEの**有効期間は3か月**です。有効期間内にビザを取得し渡日する必要があります。出入国在留管理局での審査には2か月程度を要しますので、申請が入学直前にならないよう注意してください。

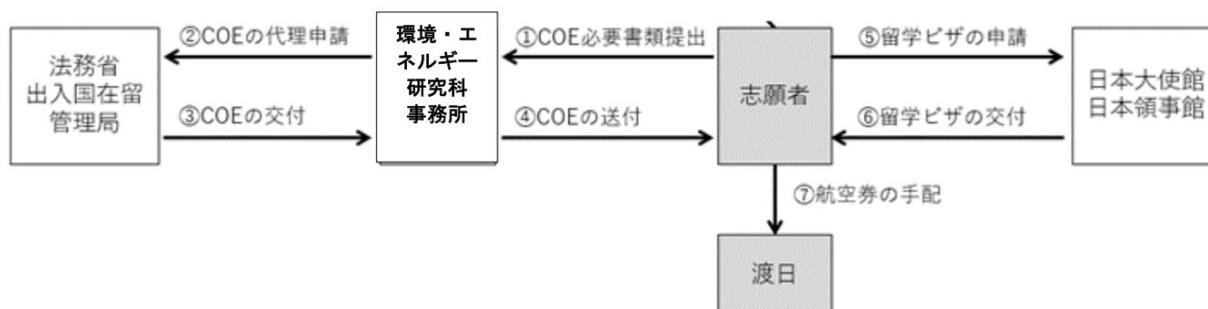
【注】**代理申請は、入学手続き料の振込を完了しないと行いません。**希望者は、すみやかに振込を済ませ、早急に手続きを行ってください。

【注】代理申請に必要な書類と送付先については「在留資格認定証明書代理申請依頼書」をご覧ください。

### 【留学ビザ取得までの流れ(①→⑦)】

※留学ビザ交付にかかる日数は大使館、領事館によって異なり、場合によっては3週間ほど要します。

※当研究科事務所にCOE申請書類を提出後、申請予定の日本大使館・領事館へ連絡して、おおよその所要日数を把握しておいてください。



### (5) 在留資格の取得、変更(自己申請)

#### 〈査証免除／短期滞在の資格で入国している場合〉

査証免除／短期滞在(観光、商用、知人・親族訪問等90日以内の滞在で報酬を得る活動をしない場合)で入国した場合、原則として一度出国し、国籍を有する国または居住国の日本大使館・領事館でCOEを提出し、留学ビザを取得してから再入国してください。しかしながら、入学試験日が年度末(2月末、3月)でCOEの交付が遅く、新学期前に帰国が難しい場合は、COEが発行されたら、出入国在留管理局で資格変更許可申請を行うことは可能です。ただし、例外的な申請となりますので、在留資格の変更が許可されない場合もあります。在留資格審査は出入国在留管理局が行うため、審査の期間や結果について、本学は一切責任を負いません。

【注】30日以内の短期滞在の資格の場合、日本での資格変更はできませんので、一度出国し、国籍を有する国または居住国の日本大使館・領事館でCOEを提出し、留学ビザを取得してから再入国してください。

### (6) その他注意事項

- ・環境・エネルギー研究科事務所が代理申請を行う在留資格は「留学」のみです。その他の在留資格を申請する場合は、自身で出入国在留管理局に申請してください。
- ・必要に応じて、出入国在留管理局から追加書類を要求されることがあります。
- ・事情により早稲田大学への入学を辞退する場合は、至急、環境・エネルギー研究科事務所にお知らせください。また、他大学にも合格した場合、COEの交付申請が重複しないように注意してください。重複している場合、COEは交付されません。
- ・重国籍者で日本国籍を有する場合は、COEを申請できません。
- ・在留資格審査は出入国在留管理局が行うため、交付が遅れる場合や不許可となった場合、航空券の違約金等、本学は一切の責任を負いません。渡航手配は慎重に行ってください。
- ・在留資格「留学」の手続に関しては環境・エネルギー研究科事務所(E-mail: [weee-ent@list.waseda.jp](mailto:weee-ent@list.waseda.jp))へ問い合わせてください。

## 特定国からの志願者に対する入学検定料免除措置制度

### 特定国からの志願者に対する入学検定料免除措置制度

以下の1. に掲げる条件に合致する出願者は、本人からの申請に応じて入学検定料を免除します。

#### 1. 適用条件

文末に記載の対象国に居住し、かつ対象国の国籍を有する者。

\*居住国と国籍は同一の国である必要はありません。

\*重国籍の場合は、いずれの国籍も前項の国に該当していることが必要です。

#### 2. 免除申請手続

出願書類として提出を求めている入学検定料支払証明書の代わりに以下の書類を提出してください。

1) 検定料免除措置申請書（所定様式）

2) パスポートのコピー（本人に関する記載事項の全ての欄）

#### 3. 注意

1) 出願期間終了後の申請はいかなる理由でも受け付けません。

2) 本免除申請をする場合は、検定料を支払う必要はありません。誤って支払ってしまった場合、入学検定料の返還は行いませんのでご注意ください。

3) 万が一、申請者が本免除措置の対象とならない場合や、虚偽の申請があった場合は、その事実が判明した時点で出願自体を取り消すことがあります。

#### [対象国\*]

アフガニスタン、アンゴラ、バングラデシュ、ベニン、ブルキナファソ、ブルンジ、カンボジア、中央アフリカ、チャド、コモロ、朝鮮民主主義人民共和国、コンゴ民主共和国、ジブチ、エリトリア、エチオピア、ガンビア、ギニア、ギニアビサウ、ハイチ、キリバス、ラオス、レソト、リベリア、マダガスカル、マラウイ、マリ、モーリタニア、モザンビーク、ミャンマー、ネパール、ニジェール、ルワンダ、サントメ・プリンシペ、セネガル、シエラレオネ、ソロモン諸島、ソマリア、南スーダン共和国、スーダン、シリア・アラブ共和国、タンザニア、東ティモール、トーゴ、ツバル、ウガンダ、イエメン、ザンビア

\*OECD/DAC が発行する ODA 受給国リストに掲載される「Least Developed Countries」「Low Income Countries which are not LDCs」の認定国

\*最終更新：2024年1月



## 研究指導および担当教員

### 【研究指導内容】

#### 環境・パワーシステム研究

草鹿 仁

現代及び次世代のエンジンシステムの燃焼、性能、有害排出物質の生成機構とその低減、燃料電池自動車などの自動車用パワーシステムを対象に実験研究および輸送論と化学反応速度論にもとづく数値計算による理論研究を展開する。

#### 環境・エクセルギー工学研究

中垣隆雄

持続可能なエネルギー社会の実現には、温室効果ガスの削減に向けた技術開発が急務である。電気・熱・化学などの形態におけるそれぞれの長所を生かしたエクセルギー視点での環境負荷の小さいエネルギーシステムの構築が極めて重要であり、本研究では以下のようなテーマを指導する。

- ・再生可能エネルギーの有効利用に資するエネルギーストレージに関する研究
  - ・二酸化炭素分離回収固定化技術(CCS)
  - ・化学、電気化学的なエクセルギー再生技術と鉄鋼および工業炉への適用研究
  - ・燃料電池、リチウムイオン電池などの内部の反応・輸送現象の解明と新たな作製方法の開発
- 俯瞰的に技術を見渡せる視野を持ち、確かな学力に基づく課題発見、解決力のある人材育成を目指す。

#### 環境システム評価研究

納富 信

エネルギー等の枯渇性資源の消費、生態系サービスへの過度な負荷を起因とする地球システムの環境システム容量の限界への懸念が大きく叫ばれる中、持続可能な社会を創り上げるためには、エネルギーならびに環境問題の解決が不可欠であり、それには新たな技術システムや社会システムなどの導入・普及対策が重要である。

特に、それらの対策が、現在から将来にわたる時間軸において発生する影響と社会全体に普及させた場合の効果、時間的・空間的に予測、定量化して、適切な選択肢を与える評価手法の開発が求められている。

そこで本研究指導では、持続的な社会の営みに必要なエネルギーならびに環境システムを構築するのに必要な技術システム、社会的システムのあり方などを、環境面・経済面・社会面で評価する手法を研究し、それを適用することを通じて、課題・問題の所在の明確化、解決に向けた手法の考案、社会に貢献できるスキルとテクニックを開発・修得することを目指す。

#### 環境・電気エネルギー研究

紙屋雄史

近年、自動車の分野においても、いわゆる環境・エネルギー問題の克服がきわめて重要なテーマとなっており、関連する企業や研究者に対しては、内燃機関の一層の性能向上とともに、それに代わる新たな動力システムの研究開発が求められている。このような背景のもと、ここでは環境調和性に優れた電動車両(電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車、等)を対象とした研究指導を行なう。電動車両は、従来の自動車と比較して「温室効果ガス削減効果」「エネルギーシフト効果」「周囲環境負荷低減効果」「乗車環境改善効果」が極めて高い。しかし、主に「バッテリー」とバッテリーへの「充電」に大きな技術的課題を抱えており、なかなか大量普及出来ない状態となっている。そこでここでは、車両本体の設計・製作・環境調和性評価と、これらに共通して搭載される機器類(バッテリー、モータ、充電システム等)の性能向上を図ることで、それぞれ固有の課題を解決すると同時に、共通の「バッテリー・充電問題」に対処していく。

#### 環境配慮エネルギー・循環システム研究

小野田 弘士

低炭素社会、循環型社会の構築に向けて、社会実装を念頭においた次世代型の社会システムの構築に資する技術・システムの開発に関する研究を展開している。ライフサイクル思考に基づくシステム工学的なアプローチを基軸としながら、社会受容性を考慮した学問領域統合型の視点を取り入れている。多様な産学官連携により、プロジェクトベース型の研究を展開していることも特徴である。研究分野は、スマートコミュニティ、次世代モビリティシステム、未利用バイオマス活用技術・システム、再生可能エネルギー利用技術・システム、エネルギーマネジメントシステム、環境配慮設計、LCA、資源循環および廃棄物処理技術・システム、ビジネスエコシステム等。

近年、環境問題を単独の課題としてとらえることは難しくなっています。環境問題を理解し、解決するためには、環境、経済、社会のすべての観点から考えることが必要です。地域社会は、環境、経済、社会に関する課題とポテンシャルの双方を有していることから、新たな環境共生社会を実現するための実践の場として注目されています。

本研究指導では、地域資源の活用を通じた、環境と調和した持続可能な地域社会システムの実現に向けた研究を行います。特に環境、エネルギー、地域、食料、農業など多面的な分野の相互関係に着目して、社会科学及び政策的な観点から研究を行います。研究テーマの例としては以下のようなものがあります。

再生可能エネルギーやバイオマスなど未利用資源の活用による地域活性化、環境循環共生政策、農業政策、食料政策、地域政策、食料産業・農業におけるイノベーションシステムの構築、遺伝資源 など。

**<研究科事務所> お問い合わせ・出願書類送付先**

早稲田大学 大学院環境・エネルギー研究科入試係

〒169-8555 東京都新宿区大久保 3-4-1

西早稲田キャンパス 51 号館 B1 階 17 室

E-mail: [weee-ent@list.waseda.jp](mailto:weee-ent@list.waseda.jp)

事務所開室時間: 10:00~16:00(JST) (13:00~14:00 は閉室)

※土日・祝日を除く

※お問い合わせ・連絡は、E-mail でお願いいたします。